

令和5年度
みさき小学校
学校だより

たぶの木

5月26日
第2号

学びあう子 思いやりのある子 たくましい子

能登地方を震源とする地震により、被害を受けられました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

子どもたちは、新しい学年での勉強にもどんどん慣れてきて、学校内外での学習を進めています。校舎の周りにも、1年生の朝顔の鉢をはじめとし、様々な植物や野菜が植えられ始めました。多くの生き物が育つ季節になってきました。

また、27日(土)に予定しております運動会に向けて、6年生がリーダーとなり、力いっぱい練習に励んでいます。ランチルーム前の廊下には、各班の目当てと、57名全員の目当てが貼られています。1年生もしっかり自分のめあてを持つことができています。5・6年生の考えた各班のめあてには「白熱した」「全力を出し切り」「みんな輝けて」「みんな活躍」という言葉が入っています。子どもたちは、縦割り班の活動を通しながら、「児童みんなで創りあげる」運動会が実施できるよう準備をしております。

コロナ感染症の感染症法上の位置づけが「5類」に移行されたことを受け、以前のように子どもたちが町の皆様にお世話になることも増えると思います。今後とも、よろしく願いいたします。

校長 角 みのり

田植え 5月17日

トキ舞う里づくりをめざして



今年度も5年生が柚木 實氏(粟津)のご協力とご指導のもと、学校田でトキ舞う里づくりをめざした米作りに取り組んでいます。先日は田植えを行い、柚木氏の外に菊谷正好氏、濱野和喜雄氏、辻 一氏、白濁隆義氏、大宮宏志氏、脇田恵美子氏にも協力頂きました。ありがとうございました。

児童は、活動後のふりかえりで、「最初は、うまく植えることができなかったけど、だんだんとうまくできるようになり、田植えの先生からも『うまい』と言われてうれしかった。」「家では機械で植えていたので、自分でやってみる経験ができた。」「アメンボがスイスイと30匹ぐらい泳いでいた。他にもミズスマシがいた。」などという感想や気づきを述べていました。この後も、5年生は、総合的な学習の時間で、稲の生長観察等を継続的に行い、年度末には取組を通してわかったことを研究成果としてまとめていく予定です。

6月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				・交通安全指導 ・全校朝会 ・内科健診		
4	5	6	7	8	9	10
	・施設めぐり(4年)		・スクールシアター (全校)		・奥能登教育事務所 計画訪問 A	
11	12	13	14	15	16	17
	・歯磨きがんばり週間 (~6/23)			・交通安全指導	・施設めぐり(5年)	
18	19	20	21	22	23	24
		・耳鼻咽喉科検診	・施設めぐり(3年) ・クラブ		・読書の日	
25	26	27	28	29	30	
	・給食費引落日		・委員会		・児童集会	

授業参観・PTA総会・学級懇談会・専門委員会 4月28日

たくさんの保護者の皆様にご参加いただき、開催することができました。授業参観では、おうちの方に見守られ、緊張しながらも意欲的に学習に向かう子供たちの姿が見られました。また、PTA 総会では、今年度の活動の方針や具体について協議され、ご承認いただきました。ありがとうございました。今年度も、よろしくお願いいたします。



三崎地区学校運営合同協議会（コミュニティスクール）5月10日

今年度の第1回目の学校運営合同協議会が開催され、本校の今年度の学校運営方針等について協議されました。本協議会副会長の大宮宏志氏より、「学校運営協議会は学校の応援団」という温かく力強いお言葉をいただきました。今後とも、よろしくお願いいたします。



避難訓練（不審者対応）・防犯教室 5月19日

珠洲警察署のご協力を得て、授業中に不審者が校舎内に侵入してきた場合を想定した不審者対応避難訓練を行いました。児童は教員の指示に従い、速やかに避難行動ができていました。教員も演習を通して、あらためて対応を確認しました。

また、避難訓練の後、警察署員の方を講師として全校を対象とした防犯教室を開催し、登下校中の不審者対応について学習しました。



担当者コーナー 「本校の目指す授業」

根拠や理由を示しながら説明する

本校では、「主体的・対話的に学び、課題解決を目指す力」の育成を様々な授業を通して身に付けさせたいと考えています。そのためには、子どもたちが根拠や理由を示しながら、相手に伝わるように説明することが大切と考え、教師は子どもの発言を受け、発言を繋げたり、発言への問い返しを行ったりしています。

先日の5年算数科「分数のかけ算」では、1より小さい数をかけた場合の積の大きさについて熱心に考え合う姿が見られました。授業では、子どもたちは、自分の考えを何とか友だちにわかってもらおうと、数直線図を用いながら、言葉を紡ぎ合わせながら全体の場やグループの場で説明していました。そして教師とのやりとりを介しながら、授業の最後には、算数の用語を用いて筋道を立てて説明することができるようになっていました。

今年度は、自分の考えを根拠や理由を示しながら説明する力が身に付くように、算数科だけではなく様々な教科を通して指導していきたいと考えています。

(研究主任 西本 健)

